Press Release

岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

2026 年 11 月 17 日

報道機関 各位

岐阜大学教育学部附属小中学校
ワイキキスクールの児童・教員が来校します！
～「ちがい」を味わい、子どもたちの豊かな学びにつなげる～

岐阜大学教育学部附属小中学校では、「p4c（子どものための哲学・探究の対話）」の手法を取り入れ、子ども同士の対話や、対話の空間づくりを大切にしています。

このたび、p4c を研究しているハワイ・ワイキキスクールの子供たちと教員が3日にわたり本校を訪問し、対話を大切にした交流活動を行います。「対話」は、新学習指導要領改定に向けた議論の中でも重視されており、今回の訪問を通して、国を超えて自分の思いを伝え合う喜びを感じ、子どもたちの豊かな学びへとつなげていきます。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取りはからい願います。

記

日時：【1 日目】2026 年11月18日（水）

〇ウェルカムセレモニー
8:35～9:20　両校の学校紹介、郡上踊りとフラダンスなど

〇授業交流
9:35～12:20
日本の授業体験、わらべ歌や日本の昔ながらの遊び（けん玉）など
13:50～15:35
特別支援学級7～9年生の作業学習（木工・印刷・縫製）体験

【2 日目】11月19日（木）
〇金華山登山（雨天時は、岐阜市歴史博物館見学）

【3 日目】11月20日（金）
〇p4c対話・家庭科授業（出汁をとって、みそ汁づくり）、さよならパーティ

場所：〒500-8482 岐阜市加納大手町 74 番地
岐阜大学教育学部附属小中学校

以上

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。

Migration Laboratory Innovation Education

「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想：
https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu miraie.html

岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

MAKE NEW STANDARDS. 東海国立大学機構

東海国立大学機構 HP：https://www.thers.ac.jp/

問い合わせ先

岐阜大学教育学部附属小中学校　本件担当：Ⅲ部主任　岡田春香
〒500-8482　岐阜県岐阜市加納大手町 74 番地
TEL: 058-271-3545　FAX: 058-271-1816
E-mail：fushochu@gifu-u.ac.jp

■p4c とは

Philosophy for Children の略。

子どもたちが対話を通じて思考力を深める教育実践で、日本では「子どものための哲学」、「探究の対話」と訳されます。

1970 年代にアメリカのマシュー・リップマンが原型を築き、現在は世界中に広がっています。

リップマンに師事したハワイ大学のトーマス・ジャクソンは、ハワイの風土や文化に根差したハワイスタイルの「p4cハワイ」を生み出し、発展させました。

「p」を小文字で表記するのは、学問としての哲学とは異なり、子どもたちが不思議に思う気持ち「wonder」を「問い」として、対話を通して探究するためです。

■本校のp4cのあゆみ

本校では、これまでp4cハワイの理念や手法を学び、次の6つの視点を社会科の学習カリキュラムに組み込みながら研究・実践を行ってきました。

① Curriculum＆Gatekeeping 何を教え、教えないか
② Relevance 自分との関連性、切実感
③ Engagement 主体的に学び、自ら関わろうとする
④ Cultural Studies 当たり前を問い直し、批判的に読み解く視点
⑤ Consensus・Dissensus 合意・不合意 違いや葛藤を対話の契機にする
⑥ Caring Democracy 他者をケアすることを社会の中心に据える民主主義のあり方

現在は、社会科にとどまらず、「主体的・対話的な深い学び」を実現する手法の1つとして、道徳、学活、どう生きる科（総合的な学習の時間）、各教科など、すべての教育活動で、安心して対話できる環境づくりに努めています。これは一人ひとりの心理的安全性を守ることであり、多様性を包摂するカリキュラムデザインの土台でもあります。